

令和5年度 西江地区福祉活動計画評価表

スローガン	西江の絆～みんなでふれあう支え合う～
-------	--------------------

重点課題	地域での三世代間交流の機会の減少
------	------------------

事業名	推進方法	評価
三世代交流推進事業	①夏休みものづくり体験教室の実施 今年度は計画できず。	×
	②さつま芋の苗植え・収穫体験の実施 ・地域住民の畑を借り、子どもたちと地域住民の交流を深める目的で実施する。 ・5月に苗植え、10月に収穫体験を行う。草取りや水やりも育成会、部会員が協力して行う。 ・収穫後は、代表者が市社会福祉協議会へ持参	○

現状および今後の方針
三世代交流部会の役員減少もあり、ものづくり体験は、予定を立てることが出来なかった。苗植え・収穫については予定どおり実施し、収穫後、芋調理により食べる予定でしたが、市社協へ寄付をした。次年度は学校側の体制もわからなく、さつま芋の苗植え、収穫のみ実施予定。

重点課題	地域住民と子どもたちのふれあう機会が少ない
------	-----------------------

事業名	推進方法	評価
子どもを通じ、地域とのふれあい活動	①小学校の運動会の地域種目の実施 ・運動会に招待されず、実施できなかった。	×
	②年末夜警の実施 ・コロナ感染症の影響もあり、実施できなかった。	×

現状および今後の方針
コロナ感染症により、計画の段階で断念せざるを得ない状況であり、活動が出来なかった。次年度学校側の体制が分からず、休部とする。

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和5年度 西江地区福祉活動計画評価表

スローガン	西江の絆～みんなでふれあう支え合う～	
重点課題	広域サロンの認知度を高め、イベント参加者を募る	
事業名	推進方法	評価
西江地区ふれあい いきいきサロン事業	①西江地区ふれあいいきいきサロンの開催 ・自治会単位で開催しているサロンに働きかけ、計画の充実を図る。 ・サロンの内容を参加者が楽しめるよう検討していく。 ・広域サロン部会員としての自覚を持ち、協力意識を向上させる。 ・福祉推進委員の協力を得て、各自治会の高齢者へサロンの周知を行う。 ・部会員の協力体制が、出来上がりつつあり、意識向上を図る。	○
現状および今後の方針		
新型コロナウイルス感染症に多少左右される状況もあり、計画どおり出来ない事もあったが、概ね活動することができた。次年度も同様開催していきたい。回数は年6回を予定している。		

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった